

黒部市総合振興計画審議会 第2回 第2部会（産業経済）会議録

日 時：平成19年1月25日（木）9：30～11：25

場 所：市民会館102会議室

出席者：委員8人、専門委員2人

事務局

おはようございます。定刻も過ぎましたので、ただいまから黒部市総合振興計画審議会第2回第2部会を開催させていただきます。尚、本日は委員が少し遅れるようでございますので、あらかじめご報告申し上げます。それでは初めに富山部会長様よりご挨拶をお願いいたします。

部会長

皆さんどうもおはようございます。

それこそ非常に暖かい日というか雪がない日が続いておりまして、動きやすい反面、いろんな心配もあるところですが、前回より部会を始めまして今日は2回目ということで、引き続いて前回検討していただきました事業メニューあるいは重点事業を精査していただくとか、あるいは3月に予定されておりますが、基本構想の中間報告の部分についても素案を検討していただくことになっております。事前に資料がお手元に届いていると思うんですが、どうも他の部会もかなり活発な議論が交わされてるようで、私共の部会としても、皆さんの忌憚のない意見で、いいものというか、これからの黒部にとって大事な、皆さんが納得できるような素晴らしい案をつくればと願っているところなので、ぜひ活発なご意見をお願いしたいと思います。どうかよろしくお願いします。

事務局

ありがとうございました。それでは早速議事に入りたいというふうに思いますが、審議会条例の定めによりまして部会長が会の運営にあたるということになっております。これからの進行を富山部会長さんをお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。

部会長

それでは規定に従いまして進めさせていただきますが、勝手ながら座らせていただいたままでお願いしたいと思います。

それではお手元の方に、次第書きもあると思うんですが、この次第に従いまして議事を進めていきたいと思っております。まず報告事項の1番の方から事務局説明をお願いしていただきたいと思っております。

事務局

はい、それでは私の方から前回部会開催以降の経過についてご説明を申し上げます。次第の次の資料1の1をご覧ください。

資料：1により事務局から説明

部会長

今回は各協議事項毎に質疑応答を受けたいと思いますので、今の報告事項の1番の経過については、何かご質問あれば。よろしいでしょうか。

それでは次に移らせていただきます。報告事項の2番、財政見通しについて事務局お願いします。

事務局

はい。それでは私の方から財政見通しについて恐縮ですが座って説明をさせていただきます。

資料の2の方をご覧いただきたいと思います。

……資料により事務局から説明……

部会長

ただいまの説明につきまして何かご質問あればお願いします。

何かありませんか。

無いようでしたら次に進めさせていただきたいのですが、よろしいでしょうか。

それでは協議事項に入らせていただきまして、まず1番の施策の体系及び事業メニューの一次修正ということで、前回の一次修正してあります。それについて事務局説明お願いします。

事務局

はい。それでは引き続き説明をさせていただきます。

施策の体系及び事業メニュー等の一次修正についてということでございます。

-----資料に基づき説明-----

部会長

どうもありがとうございました。それでは今第一次修正ということで説明をしていただきましたが、説明のとおり今日これについてはもちろん検討していただいて、ほぼ決めていただくという形で議論していただければ幸いです。ぜひよろしくお願いします。

何かございませんか。

すいません、無いようでしたら私部会長ですが、ちょっと意見を言わせていただいてよろしいでしょうか。

今回今説明していただきました農林水産業の振興という中で、一次産業、共通の対策みたいに書いてあります真ん中の中分類の中で生産、流通、販売対策促進事業という、この中分類ですが、農林漁業全てに共通するものであるとすれば、順番だけなんです、4つの中分類の以降にこれを記載するべきじゃないかなと思うんですが、いかがでしょうか。

委員さん、もしご意見あればお願いします。

委員

すみません。

部会長

はい。

委員

何ていいますかこの黒丸ってのは重点事業なんですかね、そうすると今順番の入れ替えってことになってくると、これは殆どその黒丸もどんどんどんどん上に上げていかなきゃならないっていうことになるわけですか。

部会長

いえあの事業メニューの、要は中分類の中の事業メニューの中でのいわゆる重要課題という意味合いなんで、黒丸のやつすべてこう上に上げていくということは必要ないと思うんですが。

委員

あーそうですね。ただ入れ替えてなるとそうですね。

部会長

その順序は余り、今中分類ですので問題ないと思うんですが。

委員

はい。

部会長

ええ。

委員

主旨がよく分からない。中分類の順番を入れ替えるということですか。

部会長

ええ、中分類の今、上から農業、農業その後この生産、流通、販売対策促進ってなってますよね、3番目のやつ。これってのはいわゆる農業も林業も漁業にも共通のいわゆるメニューの話なんで、全ての農業の項目があり、林業の項目があり、漁業の項目があって、その後にこの生産とかの部分を入れたらどうでしょうかという話なんですけども。ええ。よろしいですかね。

委員

いいんじゃないんですか。

部会長

私だけの意見じゃなくて、もし皆さんよければということで。事務局の方どうですかね。

事務局

問題ないです。

部会長

変えることについては。

事務局

はい、まさに部会長さんご指摘のとおりでございまして、事務局としても入れ替えさせていただいて、一番最後の方に位置付けをさせていただければというふうに思います。

委員

ああそうですね。僕勘違いをしておりました。

部会長

すいません。私も説明が下手なものですから。それとすいませんもう一つだけ。今のところの重点になっております産地ブランド化の推進ということですが、これはちょっと先走りして申し訳ないんですが、基本構想の中で、やはりこれはあくまでも販路開拓のために産地ブランド化すると。目的はそのブランド化じゃなくて販路拡大が目的であるというふうに、農産物にしても水産物にしてもそういうふうに理解しますと、基本構想の中ではやっぱり販路拡大ということなんでですか項目を挙げておられますので、ここではブランド化による販路拡大とか何とかって言葉を何か入れられたらどうかなと思うんですが。

委員

おっしゃる通りなんですね、私もそう思います。これ見てですねどっちかと言うとブランド化の開発なんですね。ブランドの開発なんですね。ブランドを開発して、やはりあるものをブランド化するっていうんじゃないかと、ブランドをたくさん開発して、それを販路拡大するっていう意味なんですよ。

委員

ここに価格安定消費拡大って書いてあるところに続けて書けばいいのではないかと。

委員

ですから化をとってブランドの開発と販路拡大という形なんでしょうねえ。僕はちょっと今そう思ったんですがねえ。

部会長

僕今これ見るとどうも確かにブランド化の推進は分かるんですが、何ていうかな、何のためにブランドが必要なんだという話で、最終目的はやっぱり農産物であれ水産物あれあるいは林産物にしても、やはりその販路拡大して生産枠を上げるというのが目的であるとすれば、ここではやっぱり販路拡大するということについて特に後から出てきますが基本構想の中でやっぱりそういうこと書いてるんですね。逆にいうとここに書いてないのに基本構想のどこって書くのかと、あるいは市の新しい建設計画の中でもやっぱりそういうことをうたってるものだから、これが最初じゃなくてこれがいわゆる土台となってまとめられるものではあると思うんですが、ここの中では販路拡大っていうのはやっぱり言葉を加えていいんじゃないかなというふうに理解したんですが。

委員

そうですね。ですからブランド化を図るんじゃなくて、ブランドのものを開発してそして販路を図るっていうことでしょ。ブランド化するっていうことは、あるものをブランド化するっていうことじゃないですか。

部会長

両方みたいですよ。

委員

ですから、ブランド化、開発も入ってるってこと。

部会長

だと思えます。両方とも。

委員

ならいいです。もっと分かりやすいことというとなような気がする。あるものを、こういうものがあると。これを黒部ブランドにするとかっていうんじゃなくて、それもあるけども新しいものを開発することもここの中に入ってる。

部会長

課題は両方かと思いますが。

委員

そうですね。

部会長

ええ。

部会長

すいません事務局、今のことについて何か補足説明あればお願いしたいんですが。

事務局

今のことにしてでございますけども、その「産地ブランド化の推進」の上の方に「特産品の開発、育成」と入ってますので、特産品を開発、育成していく。その中でその販路拡大するためにそれをブランド化していくという、そういう一つのストーリー性があると思いますので、これはこのままでいいような気がしますけども。

委員

その下に価格安定・消費拡大とこれで通じていくと思いますよ。消費拡大っていうことは、消費拡大は3本みんなつながっているんですよ。いいですよこれで。続けて3つ足せばちょうどいいことなると思いますよ。

部会長

皆さんよろしければ。それではここは従来のもままでということで。

委員

はい。

事務局

部会長さん、すいません。先程の事務局の説明の中でちょっと1点だけ。議会で説明をした時に、議員さんからの意見の中で、人工林と天然林という分け方でいくと中・山間地、第1部会に出てくる中・山間地というのは、むしろ人工林の方が多いような気がするんです。いわゆる考え方として、第1部会については環境面からみた森林の役割、第2部会については産業面からみた森林の役割という考え方での整理の方がいいんじゃないかという意見がありましたので、申しておきます。

部会長

今事務局から説明ありましたように、今程の第1部会では環境面からの森林、今の第2部会の方では産業面から考えた林業の施策ということで。

委員

はい。

部会長

よろしいですかね。それでは、そういうふうをお願いしたいと思います。

何か委員の皆さんご意見ありませんか。

すいません私いろいろ申し訳ないんですが、漁業関係のところ、多機能型漁港整備の推進ということで、カッコ書きで親水・緑地とかってということがこう挙げてあるんですが、特別もし計画されているものがあってこういうふうに書いてあるんであればいいんですが、具体的にすぐあがってないようであれば、カッコ書きが必要でないような気がするんです

が。

事務局

多機能型といいますと、抽象的な表現になって、事務局で親水・緑地ということになるとるわけですが、これから事業計画、具体的なものを作成していかなくてはならないものですから、部会長さんおっしゃるように、親水とか緑地とまだ計画が具体的に予算付けとか実施計画とかいうふうにはまだそこまでの段階にはいっていないものですから、カッコを取ってもよろしいかなと思います。

部会長

すいません。やっぱりこのいわゆる意味あいが高くまで理解できるかっていう一面あると思うんですが、多分あの主旨については本来漁港は船を泊めて生産の場であるんだけど、もっともっと持っている多面的な一翼といいますか、開かれた漁港づくりとよくいうもんですから、何かそこら辺のことを表現したいんだらうなあというふうに、それがあの重点ということになっているもんですから、重点事業についてはそのへんきちっと何か言葉で分かりやすいようにしていただければなあと思うんですが。

言葉等については事務局の方に多少一任してもいいということもあるかと思うんで、またお願いしたいと思います。

委員

部会長。

部会長

はい。

委員

前日も言っておったんだけど、この段階できちっとある程度事業の見えるようなのに絞り込んでいくのか、あるいはもうちょっとその包括的にどうやってでもまげられるというねえ、基本構想を立ててくのかこの辺の違いやと思います。そういう面からするとそれ全てこれみんなのせることになってくるし、そうかって今の段階で絞り込んでしまうとそれに固定されてしまうきらいもあるしね、まあこの辺の判断でしょうなあ。

部会長

ですから 10 年見据えたってということなもんですから、あんまり今の当面の話ばかりにこだわるとどうしても表現が狭い、狭義的な意味になってしまうような気するもんですから。

何か皆さん他のところ無いようですかね。

部会長

もしないようでしたら、これはこうすることで後は事務局さんに多少言葉等については、

お任せするというに。また変えるならもし思いついたりですね、言うつもりできたけど忘れとったとかっていうことであれば、またお手元に配布してあります資料を送付していただくなりしていただければ、そのようにできるもはできると思いますので、よろしくをお願いします。

それでは次に移らせていただきたいと思います。次の協議事項の2番ですね。基本構想素案の一次修正ということで、資料の4 - 1ですか。事務局説明をお願いします。

事務局

はい。それでは基本構想素案の一時修正についてご説明を申し上げます。恐縮ですが座らせていただきます。

まず資料4 - 1をご覧ください。

-----資料4に基づき説明-----

部会長

どうもありがとうございました。それでは今説明していただきました中間報告に向けての基本構想の部分で、順番にといいますかご意見のあるところからお聞きした方がいいのかなと思うんですが、各委員の皆さんどうでしょうか。

委員

えーとね。ちょっとさっき間違えたんですけどねブランド化ということで、これをみてましてね、37ページの産地ブランド化の推進という言葉がでたもんですから、ここだけを読んで僕もちょっと勘違いしたんですけど、このところは産地ブランド化の開発とか開発推進とかそういうふうになつてれば。ですから前の表を見た時にはあれって思ったんですね。僕はこれを読んでいてあれっ、これ産地ブランド化の推進だけなのかなと思って、むしろそのまとめたようなブランド化の開発、それから販路促進とかそういうような言葉にまとめた方がいいかなあと考えていたんですね。これを見ていたもんですからね。

部会長

今の能登さんのご意見は、先程の補足説明というか理解の話なんですけども、今ちょっと事務局の方からも説明ありましたが、ここでもやはり多機能型ってことでカッコ書きして親水等っていうことはあるんですが、私あまり漁業関係者なもんですからどうも観光に使うという意味あいには分かるんですが、観光のために整備するっていうのも何となく、いわゆる水産業のことがですね、36ページの産業の振興の中ではあまり出てこなくて観光のそこだけにあるというのはどうもちょっと何か理解し難いものがあるんですが。

何か皆さんご意見ありましたら。

ちょっと細かいところですが、ちょっとだけ指摘しておきますね。

まず3ページの一番下から2行目に、石田・生地漁港っていう言葉使ってるんですが、昭和44年から黒部漁港でして、あのこれは農林省告示で昭和44年に改正されておりますので。後ですね、16ページちょっと見ていただきたいと思いますけども、この2の地域特性を活かした産業育成のまちづくり、ちょっと細かい話なんですけど、3行目の農産物・海産物

ってという言葉出てくるんですが、次の真ん中から以降ですね、また黒部峡谷やっていうところからつながるところに農産物や水産物となってるんですね。すみません事務局分かります。

事務局

はい。

部会長

これもあっちこっち大概水産物って使われてるんですが、何かここで突如として海産物って出てきたりするんで、これの精査また一つよろしくお願いします。

何かないですかね。

委員

私これみんな読んでないからよく分からないんですけども、空き家対策とかはやられないんでしょうか。今昨年ですと、富山県っていうことで県外からモニターとしてツアーを組んで来ておりまして、生地の方にも観光客が来られました。尋ねられたのは、住めるんですかとか貸していただけるんですかという点もありましたので、まだこれからもどんどん入ってくると思いますので、そういう情報をどこで出すのかというのも加えていただければよろしいんじゃないかなと。こういう素晴らしい黒部市を皆さんにこう紹介する面でもそういう方にも空き家対策等にも力を入れていただければ海岸の方にもたくさんいますので、そういう情報交換なんかすごく今難しいという話も聞いておりますけれども、滑川市の方ではもう1組ね、決まったとかっていう話も聞いておりますので、そういう細かいところもちょっと力を入れていただけないんでしょうか。それともこの中に載っているんでしょうか。どの部分に入るのかちょっと私分からないので、説明をしていただければありがたいと思います。

部会長

今の話に合わせてですね、先程事業メニューの中で、宿泊施設の個性化とPRの促進ということも合わせて一緒に説明していただくとありがたいです。

事務局

ではまず初めのいわゆる空き家対策というところにご説明したいと思いますけれども、実は空き家対策については、今事業メニューのところでは出てきていませんが、今後おはかりいたしますそれぞれの個別事業のところでは、といいますのは先程の資料の事例でこういうふうになるというような形でご説明しとったかと思いますが、あのところですね、ホームページでの空き家・空き地情報の提供とこういうものを今検討しているところでございます。これはどこの事業メニューのどこに入るかといいますと、交流人口・半定住人口の拡大というようなところで、第6部会の方に今あるわけでございますけれども、この事業メニューの中に入ってくる、今のところはなっているということでよろしくお願ひしたいのでございますが。

委員

よろしくお願いします。

事務局

部会長さん先程何か宿泊施設の個性化も。

部会長

それはちょっと戻るようで申し訳ないんですが、その意味合いがちょっと分からんだもんですから、それでここの中にある程度言葉として入ってるのかなあと思ったんですが。ここの中分類の中では温泉施設が重点プロジェクトになってるもんですから、それは当然ここには入ってこなくていいと思うんですが。

意味がちょっとよく分からんだもんだから。

すいません、ちょっと戻るようであれですから、いいですいいです。

事務局

すいません、今一般的な考え方としてですね、宿泊施設の個性化っていうのは、どこにもあるそういう宿泊施設だと魅力がないという意味合いでございます。黒部に来たらこんな素晴らしい黒部らしい宿泊施設があるというそういう差別化の意味を含めております。

部会長

具体的には例えばそういった方針を出したところには補助するとかそういうような感じの話ですかね。

事務局

それは今後の検討課題にはなっておりますが、今の段階ではこれこれこうだというのはちょっとまだ具体的には出ておりません。

部会長

分かりました。ありがとうございました。

委員

よろしいですか。

部会長

はい、どうぞ。委員さん。

委員

すいません、私 の代理で と申しますが、魚津の農地林事務所では農業の方の基盤整備の方と農林の方担当しておりますが、今基本構想の 36 ページ、産業の振興で魅力あ

るまちづくりの一番上にですね、公害防止特別土地改良事業の促進ということで、私共のもっとる事業が書いてあるのでございますが、たいへん力が入ってありがたいんですが、これ順番は関係がないのかもしれませんが、これはあの公害で汚染された水田を治すというあのいわばテクニク的なハード事業でありまして、これの目的は当然農業の振興、それから地域のですね整備ということが目的なので、順番は関係ないのかもしれませんが、一番目に書くようなことではないのではないかというふうに思っております。これは先程部長さんがおっしゃった順番のですね、農林水産業の振興でですね、一番最初に農業基盤整備事業を書きいただいているところにその順番があがってきたのかなと。やっぱりあの県の方で農林水産業の振興と書くと、まず農業生産体制支援事業というこの農業を振興するというのはまず最初にきてですね、その後でそのためには基盤も整備しましょうという、この順序が逆になったりしてる場合があるので、その辺はまた事務局の方で考えていただければこのような順番でないのかなというふうなことを思っております。それともう一点、先程空き家問題もありますが、多くの市町村ではグリーンツーリズムという言葉を出して、そこで山村・農村そして漁村も含めて空き家対策だったり、都市との交流だったりとするのがありますが、ちょっと勉強不足であるんですが、グリーンツーリズムの方については滞在型の観光というふうなところで何か推進がなってるんですけども、農業の方でもですね、交流が農業の振興、農林水産業の振興になるというふうなところも考えておりまして、その辺がどっち、観光の振興のところを書いてあるかなーというふうなところかなというふうに、ちょっと先程も空き家問題がありましたのでちょっとその辺思い出したのでそれだけです。

部会長

今ご質問まずあの一点目は、他の委員さんどう思われますかね。この重点プロジェクトの中で具体的なメニューはそのままこう記載されていることについてどうでしょうか。

それでは委員さんあれなんです、事務局どうですかね。

今の 36 ページの重点プロジェクト。

事務局

公害防除特別土地改良事業が真っ先にきて、どちらかというとな負の遺産の整備という感じで受けとめられるんですけども、私達の捉え方としては、あれだけ騒がれたカドミという、いわゆる安全・安心を犯すようなものをこの事業で払拭していくという意味での捉え方をしておりますここに挙げておりますので、ただ文言の字句だけ見るとどうしてもマイナス要因に捉えられそうなので、少しそうですね、変えてもいいのかなという。あるいは事業名、これはまともな事業で出てきてますので、安心・安全な米づくりの推進とか何とかそういう別の意味での言い換えもできるかなという気がしてます。ただ気持ちとしてはそういう意味で、近い、もう数年の内にカドミという言葉が黒部から失くしたいという気持ちがここに出ておりますので、その辺をくみ取りいただければいいかなと思っております。

部会長

ということらしいので、委員の皆さんよろしいですかね。それと2点目のことについては、グリーンツーリズムこれに関しては、グリーンツーリズムの推進協議会か何か黒部市に立ち上がっておりまして、業務を含めたうちの組合長が長となりまして、ブルーツーリズムとグリーンツーリズムを一体的に検討されている、あるいは推進のために協議されている会が現実にはあるものですから、既存の。多分言葉としては余り盛り込まれてないんですが、交流人口の拡大ということの中でカバーしているのかなあという気がするんですが、そういう意味ではそれでよろしいですかね。今の説明で。

事務局

そういう今の説明でいいという、いいというのは失礼ですが、ということでございます。

部会長

誠に申し訳ないんですが、ちょっと...いいですかね。申し訳ないです。

事務局

少し5分ほど休憩ということではよろしいでしょうか。よろしくお願いします。

-----休憩-----

部会長

それでは再開したいと思います。申し訳ありませんでした。何かあの今基本構想のやつ、今度中間報告という形でされるものですから、お気付きの点があればぜひお願いしたいんですが。

事務局

部会長さんすいません。ちょっと先程のご質問受けた公害防除特別土地改良事業の促進というものが、重点プロジェクトの36ページの中にいきなり出てくるということで、非常に文言的に辛いんじゃないかというご指摘がありましたので、これは事業メニューのところも含めて、例えば安全・安心な米づくり基盤の整備とかそういう形での整理をすることで少し事務局の方に一任をいただければ非常に嬉しいと思うんですけども。

部会長

他の委員の皆さんよろしいですかね。
一任でよろしいですね。

事務局

ありがとうございます。

部会長

すいません、あと今この重点プロジェクトの今の同じその下、2行辺りで、こう直接的

にこうカッコ書きにして具体的にやっぱり挙げるっていうのは、これはやっぱり正解なんですかね。他の事業のところでも若干こう補足的にカッコ書きしてあるところあるんですが。認定農業者であるとか集落営農組織等っていうふうに。

委員

このカッコ書きは削除した方がいいと思いますよ。

部会長

ですよ。何となく。

委員

担い手育成の推進、これまあ私後ほど申し上げようかと思ってたんですけども、これあの漁業の方でも担い手育成というのは入ってますので、上の方でも担い手組織や生産組織の強化による農林水産業経営の安定化という表現なってますので、あえてこの事業メニューの担い手育成の推進のカッコ書きは必要ないんじゃないかと。具体的な事業の中では、メリハリが多分ついてくるだろうと思うんですが、産業の振興面の中ではあえてこのように限定したような重点プロジェクトという捉え方というのはちょっといかがなものかなという気はするんですが、いかがなものでしょうか。

部会長

他の委員さんどうですか。どうも何か特定の事業メニューにちょっと固執しすぎのような気がするんです。重点プロジェクトではあるんですが、現実的にはこういうことやっていくということではあると思うんですけども。事務局はどうですかね。このカッコ取るのに抵抗ありますか。

事務局

問題はないです。

部会長

ないですか。他の委員さんどうですかね。今のこのカッコ書きの。

他の委員さんご意見ないようでしたら取らせてもらうというのでいいですかね。

事務局

部会長さん、ここだけのカッコ書きのことですよ。

委員

全部。やるときは全部やる。

事務局

カッコ書き全部という意味ですか。

部会長

私の意見は3行のところ。

事務局

ここだけ。担い手育成の推進のところのカッコ書きを取るということで。

部会長

はい。

すいません、先程も言いましたけど、次のページの横書きで多機能型漁港の整備の（親水・緑地）というところを同様に。

事務局

はい。

部会長

皆さん他にご意見ないでしょうか。

委員

ちょっとじゃあ。

すいません、じゃあこれはちょっと全体をばーっと見通して気づいたことだけ言っていますでしょうか。意見になるかどうか分かりませんがいいですか。

部会長

はい。

委員

いいですか。ぱっと見ただけなもんですから、2ページですね、校正も含めてなんですけど。第3節計画の構成と期間という、これ文字が小さいですよ。隣の文字が第2節の場合かなり大きい文字。ですから第3節の計画の構成と期間というのをもうちょっと大きくする。どうですかね。

事務局

ええ。

委員

校正も含めてということで話しますと、それから4ページですけども、3番目に高度情報化社会、グローバル社会となってるんですけども、この間の全体会の時にはカタカナはできるだけ避けるということなんで、グローバルっていうのは、認知されている言葉、最近多いんですけども、何となくその国際社会とか国際化社会とかという言葉に置き換えら

れないものなのかなあということですね。それからその3番目の最後の下から2行目ですか、「習慣の違いを超えて」って「超えて」はこの「超えて」なのかなあと思う。越中の「越」にする。どういったもんですかね。それからですね、次のページの5、社会経済の変化ということで、その項の下から2番目の規制緩和やっっていこうと入ってるんですけども、どっかその規制緩和っていうのがどうもちょっと引かかる。緩和すればいいってもんかどうかって引かかるような気がします。それはこちらの部会で話すことじゃないので余り言いたくないんですけども。それから6の安全で安心に暮らせる社会ってことで、それも下から2行目の、地域住民の行動を基本としてってなってるんですけども、どうしても行動基本もいい言葉でしょうけども、もっと自立を育むような言葉に置き換えた方がいいのかなあというような感じがしました。あとはずっとって、それから14ページですけども、(2)のまちづくりの基本理念ってところで、下から3行目に「市民が主役となるよう」ってというのが、ら抜き言葉が、これどうもよく分からないんですけども、「なれるような」とかってなってるんですけども、これが正しいかどうかちょっとよく分からないってところありましたね。それから15ページですけども、安心ってところあるんですけども、これについてはまあうちの方のことじゃないんですけども、高齢者の健康づくりのことについて入ってるのかなあ。病気になった時のことじゃない、高齢者の健康づくりのことについてもう少し掘り下げてもらったらいいのかなあというような気がいたしました。それから、28ページのグリーンツーリズムのところなんですけども、これも今グリーンツーリズムっていうんでしょうけども、何か日本語的なものの表現があったらいいかなあということと、それから28ページの農林水産の振興っていうところなんですけども、黒丸2番目で、ここでもやはり2行目の黒丸2番目の2行目で、「地域特産物のブランド化や」ってなってるんですね。ってこれもさっき言ったように「地域特産物の開発とブランド化」ってというような書き方がいいのかなあというような気がしましたけども。それからそのメニューの方には出てこなかったんですけど、農林水産の振興ってことで、何か生産者と消費者の交流の場の整備ってというようなことが何かあればいいかなあというような感じがしましたけども。それから、後はさっき出てましたので省略しますが、細かいこと言いましたけどちょっと気がついたもので、はい。

部会長

他の委員の皆さん何か他にございましたら。

一応一通り協議事項終わったんですが、皆さんいかがですかね。何かありましたら。今の委員からの話についても検討するとかってというのはぜひ事務局には検討していただきたいと思います。

委員

地鉄って言葉。地方鉄道のことですね。ちょっと富山方面に向かった時に、地鉄って何ですかっていうんですよね。ええ。だからその辺は地鉄って言葉ここにもいくつあったんですけども、何か表現を地方鉄道にした方がいいのかもしれない。地鉄って分からないっていうのがありましてね。

部会長

それでは、ほぼ意見も出つくしたようですので、お手元に配布してあります提言書の方は、先程も申し上げましたように、お気付きの点があれば2月9日までということになっておりますので、ぜひ事務局の方にいろんなこと届けていただければ幸いです。それでは皆さんの貴重なご意見を賜りまして、座長の役目を終わらせていただきます。今日はどうもありがとうございました。

事務局

部会長さん、その他。

部会長

ああ、その他。申し訳ないです。すいません。その他の方の説明を事務局からお願いいたします。

事務局

手短かに申し上げたいと思います。まず1点目でございますが、冒頭経過報告のところでも申し上げましたけれども、次回の審議会の方ですが、2月28日水曜日になりますけれども、午後1時半から当市民会館で予定をさせていただいております。今度は全体会ということでございまして、部会ではございませんので一同にお集まりをいただく予定にしております。どうか日程調整をよろしくお願いいたします。

委員

いつだって。

事務局

2月の28日でございます。その際に、3月に予定しております基本構想中間報告に向けての一定の取りまとめをお願いする予定にしております。先程部会長さんからもありましたように、この中間報告の実物となりますこの基本構想の冊子についていろいろご意見を聞きながら全体会で取りまとめたいというふうに思っておりますので、どしどしご意見をいただければというふうに思っております。その点もよろしくお願いいたします。それから、本年度3月までの会議の開催については、2月28日で今年度は終了という予定にしております。4月以降、平成19年度の会議日程についてでございますが、審議会委員の皆さんの中からたいへん審議の回数が少ないというようなご意見もいただいております。4月以降、今度はいよいよ具体的な事業の案に基づきまして、前期の基本計画、前期5年で何に取り組んでいくかというようなご議論をいただく予定にしておるわけですが、十分な会議の回数を確保したいということで、今現在予算要求をしておる段階でございますけれども、その辺の予算の目処がつき次第、4月以降の会議日程についてもお示しをしたいというふうに思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。それからもう1点お願いいたします。これも審議会委員からのご要望でございましたけれども、ぜひ市内視察をしたらどうかということでございます。先般、皆さん方に希望があれば書面

でご提出をお願いしたいというふうに配布をさせていただきました。今日記載されておられる委員さんがおられましたら、お帰りの際事務局へ提出をいただければというふうに思いますのでよろしく願いいたします。以上でございます。

部会長

すいません、先走って申し訳ありません。今日は本当に慎重審議ありがとうございました。また進行にご協力いただきましてありがとうございました。今日はどうもご苦労さんでした。

事務局

どうもありがとうございました。以上で黒部市総合振興計画第2回審議会の第2部会を閉会させていただきます。